

# わが

## 「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう 人の輪 小金井市」の実現に向けて

ほどよく都会。  
ほどよく田舎。

小金井市は東京都のほぼ中央、武蔵野台地の南西部にあり、都心から約25km西方に位置しています。約4km四方と入り組みが少なくコンパクトな地形で、大きな都立公園や玉川上水・野川に囲まれ、水とみどりに恵まれており、都会の利便性

と自然の豊かさを併せ持つまちです。小金井の地名の由来は「黄金に値する豊富な水が出る」ことから、「黄金井」が転じて「小金井」になったと言われています。また、国の名勝に指定された玉川上水沿いの桜並木は花見の名所と知られ、本市のシンボルとして市章にも取り入れられています。また、市内には多くの大学などがあり、文教都市としても親しまれています。本市の人口は約12万と決して多



湧水と美しい自然に恵まれ、市民の憩いの場にもなっている野川周辺



武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業。高層部は多世代に対応した都市型住宅が、低層部は商業施設「SOCOLA武蔵小金井クロス」が令和2年にオープンしにぎわいを見せている

くはありませんが、人口の増加傾向が続いている数少ない自治体の一つです。「東京都の統計」によりますと、令和2年度の人口増加率は都内で1位となりました。「住みやすい」「住み続けたい」と思う市民の割合を増加させることを基本目標として掲げ、地域の中央に位置するJ・R中央線駅周辺の再開発や区画整理によるまちのにぎわいの創出、子育て環境の充実のほか、令和2年度には小金井市パートナーシップ宣誓制度を開始するなど、市民の「しあわせ」の増進に努めています。



小金井市パートナーシップ宣誓制度の手引き

子どもが子どもらしく、  
のびのびと育つまちづくり

子どもたちが元気に育ち、笑顔があふれるまちであり続けるためには、安心して出産・子育てができる切れ目のない支援や環境整備が欠かせません。特に課題であった待機児童対策については、過去5年間で認可保育所の定員数を約1.7倍に増やし、本年4月1日現在の待機児童数は、41人（速報値）となりました。まち全体の総合力による、子育て・子育て・教育環境の向上、「子育て環境日本一」を目指すことにより、活力のあるまちづくり、住民福祉の増進、そして持続可能なまちづくりへとつながっていくと考えています。

### 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種の取り組み

市民の暮らしをしつかりと支え、早期の安定化につなげるためには、接種を希望する方への安全で迅速なワクチン接種が極めて重



本年7月から設置した市の大規模接種会場

要であり、最大の経済支援、住民福祉の向上に直結するものとの認識です。ワクチン接種を本市における最優先事業と位置付け、希望するより多くの方により早く接種ができるよう、4月下旬に65歳以上の高齢者の方々の予約を開始し、5月初旬から接種を進めてまいりました。

本市には大病院はなく、大きな会場での集団接種も見込めなかったことから、短期間で大量の接種ができるかが大きな課題となっていました。市医師会の皆さまとの緊密な連携により、現在まで全体の8割以上をかかりつけ医など、まちの診療所などでの接種をお願いすることにより、着実な接種体制を整えることができました。医師会などの皆さまには大変なご尽力をいただき、特に多くの高齢者の皆さまが、かかりつけ医で安心して接種できたことは、円滑に接種を進める上で、大きなメリットがあったと考えています。

加えて、JR武蔵小金井駅の駅前で7

月から開始した市の大規模接種では、市医師会、市薬剤師会、市訪問看護連絡会を含む看護師の方々の全面的な協力をいただくことで、約2カ月間、武田薬品工業・モデルナ社ワクチンによる接種を実現できました。

コロナ禍という経験のない状況の中、安全で安心な暮らしを取り戻すために手を取り合い、「チーム」として取り組むことは、まさに「私たち」が目指している姿そのものであり、今後のまちづくりの上でも非常に大きな手応えを感じています。

## 新しい将来像の実現に向けて

現在、本市の最上位計画である小金井市基本構想について、新たな計画の策定を進めているところです。人口は微増傾向であるものの、10年後には人口はピークを迎え減少に転じる推計もあり、短期的には学校の教室不足や学童保育所の不足、長期的には公共施設などの老朽化といった課題も顕在化してきています。また、最重要課題である新庁舎及び（仮称）新福祉会館の複合施設建設の着実な推進

や、自治体DXへの対応など、新型コロナウイルス感染症を契機とした新たな変革も求められます。こうした厳しい状況の中でも、将来を見据え、市民の「しあわせ」の増進を図るためには、市民参加と協働によって、共に創造していくまちづくりを進めていかなければなりません。市の10年後の将来像「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」の実現に向け、行政だけでなく市

## プロフィール

- ◆ 面積 11・30 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 12万4521人
- ◆ 世帯数 6万2426世帯

〔将来都市像〕いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市

〔まちの特徴〕利便性の高い都会的要素と、安らぎを感じる田舎的要素がほどよく共存したまち

〔特産品〕ルバーブ、栗、江戸東京野菜



小金井市長  
西岡真一郎



〔観光〕小金井公園、滄浪泉園、はけの森美術館、名勝小金井（サクラ）、江戸東京たてもの園、浴恩館公園

〔イベント〕小金井桜まつり、こがねい市民活動まつり、小金井阿波おどり、こがねい産業祭り



夏の風物詩となっている小金井阿波おどり（令和2、3年は中止）。開催は40回を超え、長い歴史を持つ

民の皆さまと共に、「選ばれるまち」を目指してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

## わが

「水・ひと・まちが輝き みんなの笑顔を  
未来へつなぐまち」の実現に向けて

豊かな水と古い歴史と  
文化が息づく、  
水とみどり豊かなまち

大阪狭山市は、大阪平野の東南部に位置し、市内を縦貫している南海電気鉄道高野線の三つの駅が

あります。大阪市中心部へは約25分でアクセスでき、便利で住みやすいベッド

タウンとして親しまれています。

雨が比較的少ないこの地方では、農業に必要な水を確保するため、古代からたくさんのお花見が造られてきました。市内に数あるため池の中で、市のほぼ中心部に位置し最も広い面積を誇っているのが、市のシンボルでもあります「狭山池」です。築造は7世紀前半の飛鳥時代までさかのぼり、1400年以上の長い歴史を有します。現存するものとしては国内

最古のダム式ため池で、「古事記」や「日本書紀」にもその名が登場し、平成27年には国の史跡に指定されました。

狭山池の周囲には、「市の木」である桜の木が約1300本植えられ、多くの人が毎年お花見に訪れるとともに、毎年ゴールデンウィークの時期に開催される狭山池まつりでは、市内外から延べ4万人以上もの人出があります。安藤忠雄氏が設計した狭山池博物館が隣接されていることもあり、狭山池は国内外から人が集まるまちのにぎわいの拠点となっています。

水とみどりの  
ネットワーク構想

令和2年度に策定しました「大阪狭山市水とみどりのネットワー



みどり豊かなあまの街道

ク構想」では、狭山池を中心とした豊かな水とみどりを一体的な空間として活用することで、市民の皆さまに親しまれるみどり環境の創出を目的としています。特に、狭山池周辺エリアを重点アクションエリアと位置付け、令和2年度から令和5年度の4年間にかけて、公民連携の手法を用いて狭山池に隣接する副池オアシス公園のリニューアルを進めています。民間のノウハウを生かしながら、憩いとにぎわいにつながるカフェの誘致など、来訪者や市民の皆さま



本市のシンボルである狭山池



狭山池北堤の桜並木

まが日常的に憩い、遊び、過ごしたくなるような、新たなエントランス空間の形成を目指します。

また、歩行者目線のウォークアブルな空間の形成の一環として、狭山池橋下にアンダーパスを整備し、府道によって分断されていた狭山池公園入り口と緑道を立体交差によって接続することで、歩行者が安全に狭山池へアクセスできるようにになりました。今後も、市民の皆さまが居心地良く、歩きたくなるような歩行者空間の整備・改修を進めてまいります。

## 子育てや子どもの教育環境の充実

保護者同士が気軽に集まって相互に交流を図り、楽しんで子育てができるよう、平成31年に本市2カ所目となる子育て支援・世代間交流センター「UPっふ」がオープンしました。子育て支援の拠点のみならず世代間交流の場として、市民の皆さまに親しまれており、館内では子どもたちのにぎやかな声が響いています。さらに、子育て世帯向けに配信している携帯端末用の「大阪狭山市子育て情報アプリ」は、手当や助成、医療

情報など子育て情報が即座に取得できるのみならず、予防接種のスケジュール管理機能があり、子育てに便利なツールとして活用していただくことを期待しています。

また、令和2年度に、7校ある小学校のうち1校をモデル校として、学校運営協議会を設置しました。学校運営に地域の声を積極的に生かした特色のある学校づくりを目指し、将来的には市内の全小中学校への設置を考えています。

## みんなでつくる おおさかさやま

本年は、10年間にわたる長期的なまちづくりの指針である第5次大阪狭山市総合計画がスタートを



甘くておいしい大野ぶどう

迎え、さまざまな世代がつながり、全ての人の笑顔があふれ、その笑顔が未来へつながっていくまちをイメージし、「水・ひと・まちが輝き みんなの笑顔を未来へつなぐまち」を新たなまちの将来像として掲げています。

新型コロナウイルス感染症の猛威は止まらず、いまだ厳しい状況が続いていますが、この状況乗り越えるにはみんなで一丸となつて立ち向かっていかなければなりません。ポストコロナを見据え、「みんなでつくるおおさかさやま」を合言葉に、市民、事業者や大学など市に関係する多様な主体と手をつなぎ、地域を挙げて魅力と活力あふれるまちづくりに真摯に取り組みでまいります。

## プロフィール

- ◆ 面積 11・92 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 5万8536人
- ◆ 世帯数 2万6089世帯

〔将来都市像〕水・ひと・まちが輝き みんなの笑顔を未来へつなぐまち

〔まちの特徴〕日本最古のため池である狭山池に代表される、豊かな水と古い歴史と文化が息づく水とみどり豊かなまち



大阪狭山市長  
古川照人



〔特産品〕大野ぶどう  
〔観光〕狭山池、狭山池博物館、市民ふれあいの里、狭山池公園、あまの街道  
〔イベント〕狭山池まつり、桜まつり、産業まつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

## わが

ひとがにぎわい、育み、つながり、  
魅力あふれるまち ゆくはし

自然と交通インフラを  
生かしたまちづくり

福岡県の北東部に位置する行橋市は、周防灘の海やカルスト台地で有名な平尾台など、多様で豊かな自然と穏やかな気候に恵まれ、市のほぼ全域が平野部という大変暮らしやすい環境となっており、農業、漁業、自動車産業、電気工業などが盛んで、京築地域の中核都市として発展を続けています。平成28年には東九州自動車道が全線開通し、福岡市や別府市へ約1時間で訪れることができるようになり



大粒で磯の香り豊かな豊前海一粒かき

ました。また、北九州空港まで車で約20分、空港から東京までは約90分で到着することができ、など、広範囲な高速交通・交流拠点のまちとして発展の可能性が一層高まっております。

「教育(学び)」を  
まちづくりの柱に

令和2年度、「第2次行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、第1次に引き続き「教育(学び)」を大きな柱として、人口減少問題に取り組んでおります。これは、子どもたちにとって、より良い教育を受けることは、その後の人生を豊かにする可能性が高く、行橋市・日本・世界の次代を担う子どもたちへの教育に力を注ぐことは、われわれの使命の一つであると思っております。



タブレットを活用した授業

そのため、ICT環境整備やトイレの洋式化、教室の空調整備などの教育環境整備を全校で完了しているほか、全学年35人の少人数学級の実現やA・L・Tの配置なども推進し、生きる力を備えた子どもたちの育成のため、ハード・ソフト共に充実を図っております。また、本市の魅力である海岸線を生かした「ゆくはしシーサイド



長井浜公園ビーチで砂浜結婚式

「かき汁」が振る舞われ、大変人気のイベントとなっております。

令和2年度には、本市の海岸地域観光振興の拠点の一つとして、遠浅の海岸が続く長井浜公園を整備しました。県内有数のマリナークティビティを企画するほか、結婚式場として活用するなど、新たな交流の場としてまちの活性化を図っております。

さらに、多くの人が芸術に接し、また世界にむけて「行橋市」を「文



ビエンナーレ大賞作「末松謙澄 世界へ」

化芸術創造都市」として発信するために、2年ごとに「ゆくはし国際公募彫刻展」ゆくはしビエンナーレ」を開催しています。世界中から彫刻作品を公募し、大賞受賞者1名に賞金1000万円が贈られます。本年度3回目の作品テーマ「末松謙澄」は、行橋で生まれ育ち、政治・芸術・文化の分野において、日本が国際社会の中で近代国家としての立場を確立するための礎を築いた人物です。世界6カ国から32点の応募があり、大賞となった作品は、行橋駅のコンコースに設置され、多くの方がいつでも見て触れることができます。

また、この事業の一環として、

国際的に活躍している彫刻家を招待し、本市のまちなかに滞在し石の彫刻作品を公開制作していただく「行橋まちなかオブジェ・プロ

ジェクト」も開催しております。今までに、イタリアやエジプト、キューバなど世界各国から多くの彫刻家の方が参加し、子どもたちとの交流の機会を設けるなど、小さなまちから世界へつながる取り組みを進めております。そして、そこで創られた彫刻作品は、まちなかの店舗や市内の小中学校に設置し、市民の創造性を高めております。

## 行政サービスのデジタル化により市民サービスの向上を目指す

令和2年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大の猛威は、日本のみならず世界の経済や社会へ多大な影響を及ぼし、非接触などの「新しい生活様式」が求められるようになりました。一方、少子高齢化の傾向は本市においても進んでおり、限られた人員や財源の中で行政運営を行うことが喫緊の課題となっています。

このような社会課題の解決方法の一つとしてデジタル化への対応が急速に求められたことから、本市では令和2年度に「行橋市行政サービスデジタル化基本計画」を

策定しました。「もっと早く、もっと便利に」をデジタルの力で実現する」ことを基本理念に置き、12の目標施策を定め、本年度よりスピード感を持ってデジタル化に取り組んでおります。

具体的には、「行政手続きのオンライン化」「キャッシュレス決済」「マイナンバーを活用した行政サービスの構築」など、市民サービスの向上と行政事務の効率

化・高度化を目指しております。令和2年度は、デジタル化推進の大きなカギとなるマイナンバーカードを取得した市民に5000円の商品券を配布する事業を実施し、現在県内1位の交付率となっております。

これからも活力に満ちあふれ、着実に発展を続ける持続可能都市を目指し、さまざまな施策に取り組んでまいります。

## プロフィール

- ◆ 面積 70.06 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 7万2907人
- ◆ 世帯数 3万3383世帯

〔将来都市像〕「魅力がいつばい 人が集まる パワフルゆくはし」

〔まちの特徴〕「穏やかな気候と自然に恵まれ、スポーツやアートの振興に取り組む魅力あふれるまち」

〔特産品〕イチジク、梨、桃、菜種、豊前海一粒かき、マテ貝、ガザミ、味噌だれおでん



行橋市長  
田中 純



〔観光〕御所ヶ谷神籠石、馬ヶ岳城跡、守田義洲旧居、稲童1号掩体壕、旧百三十銀行行橋支店、今川千本桜  
〔イベント〕行橋夏まつり「こすもつべ」、今井祇園祭、養島百手祭、ゆくはしシーサイドハーフマラソン、行橋別府100キロウォーク

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。